



発行:福山平成大学  
FD推進委員会  
〒720-0001  
広島県福山市御幸町  
上岩成正戸 117-1  
084(972)5001(代)  
fd@heisei-u.ac.jp

## 目 次

FD ワークショップ 「科研費申請書について」	1
講師:福祉健康学部健康スポーツ科学科	上村崇教授
FD 講習会 「実用統計講座」報告 講師:経営学部経営学科	福井正康教授
FD 研修会(1)「障害と大学の現在～改正障害差別解消法を見すえた組織的対応の必要性～」	2
講師:京都大学学生総合支援機構、村田淳准教授	
FD 研修会(2)「研究推進及び研究支援」 永井純子副学長	3
講師:経営学科学科長 堀越昌和教授、福祉学科学科長 岡部真智子教授	
FD ワークショップ 「シラバス作成について」	3
講師:教務委員長 中原大介こども学科教授、同副委員長河野洋健康スポーツ科学科准教授	
FD 授業公開報告 担当教員: 梅木璃子こども学科講師	4
令和5年度学生による授業アンケート調査結果	5～9
FD 関連図書コーナー新着案内	10
令和5年度 FD 推進委員会活動記録	11

## FD ワークショップ（1）報告

### 「科研費申請について」

講師：福祉健康学部 健康スポーツ科学科 上村崇教授

昨年に引き続き、8月25日（金）科研費申請についてのワークショップを開催しました。参加者は5名でした。最初にファシリテーターを務めてくださる健康スポーツ科学科教授の上村崇先生から、研究の「たね」を授業や委員会活動などから探し出す視点の重要性や、申請書を作成する大事なポイントとして、科研申請の審査がpeer reviewによって行われることについてのポイントについて説明がありました。また、先生は、科研費Bへの応募は、備後地域の「知の拠点」としての本学の存在価値を高めることにつながるとの言及もありました。「科研費申請」という具体的なテーマでの研修でしたが、マクロな視点からの研究についての提案もあり、大変参考になる研修でした。

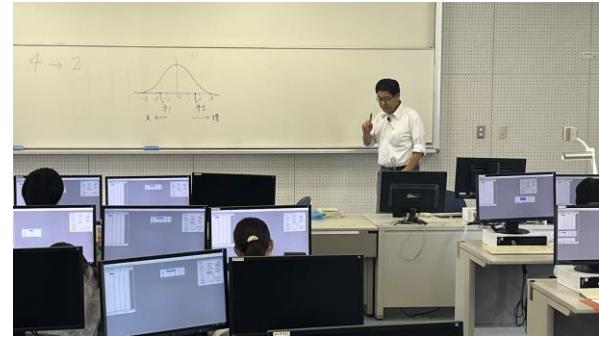


## FD 講習会 「実用統計講座」報告

講師：経営学部経営学科 福井正康教授

8月16日（水）から18日（金）の3日間、FD講習会「統計講座」を経営学科の福井正康教授の指導のもとで開催しました。参加者は延べ24名でした。

初日は、統計の基礎的な知識や検定を学びました。質的・量的データの集計と検定方法、正規分布の性質、相関と回帰分析等についてでした。二日目は、研究分析によく利用される多変量解析の手法について学びました。実験計画法、重回帰分析、判別分析、因子分析、クラスター分析などについてでした。そして、三日目は、分析間の関連及び多変量解析の発展形について学びました。主に、相関係数の検定・t検定・カイ<sup>2</sup>乗検定の関係、重回帰分析と数量化I類、多重共線性の意味、判別分析とロジスティック回帰分析の比較、共分散構造分析、探索的因子分析と確認的（検証的）因子分析等について学びました。



福井先生から具体的なデータを利用しながら、詳しく説明がなされ、今後の先生方の研究や教育に役立つ研修となりました。

## FD研修会（1）報告

「障害と大学の現在  
～改正障害差別解消法を見えた組織的対応の必要性～」

講師：京都大学学生総合支援機構 村田淳准教授

9月14日（木）、福山大学との共催で第1回FD研修会を開催しました。福山大学で開催された教育改革シンポジウムをライブ配信によって本学で視聴するという方法で、新しく公布される「障害者を理由とする差別の解消の推進に関する法律」の内容についての研修でした。最初に、京都大学学生総合支援機構の村田淳先生による「障害と大学の現在～改正障害差別解消法を見えた組織的対応の必要性～」という演題で基調講演がなされ、続いて、福山大学の先生方によるパネルディスカッションが行われました。障害を持つ学生をどのように教育的な配慮を行っていくことが必要なのかについて、具体例を挙げて詳しく話され、また、パネルディスカッションでは、福山大学での取り組み例が紹介されました。本学において検討が必要なさまざまな課題について学ぶことができた貴重な機会となりました。



## FD研修会（2）報告

### 「研究推進及び研究支援」

講師：永井純子副学長

経営学科学科長 堀越昌和教授

福祉学科学科長 岡部真智子教授

10月12日（木）に第2回FD研修会を開催しました。今回の研修は「研究推進及び研究支援」がテーマで、最初に永井純子副学長により、本学の研究推進及び支援についての取り組み、科研費の申請状況や10月末に予定している研究懇話会（Conversa Lounge）についての紹介がなされました。続いて、経営学科学科長の堀越昌和教授と福祉学科学科長の岡部真智子教授による研究と科研費採択に向けての要点についての講演がありました。先生方の実際の経験を基に具体的なアドバイスがあり、大変参考になる内容でした。



## FDワークショップ（2）報告

### 「シラバス作成について」

講師：教務委員長 中原大介こども学科教授

副委員長 河野洋健康スポーツ科学科准教授

来年度のシラバス作成の時期を迎えた12月22日（金）、シラバス作成のポイントについてのFDワークショップを開催しました。参加者は30名でした。講師を務めてくださった教務委員長の中原大介こども学科教授と同副委員長の河野洋准教授から、シラバスは科目の授業内容、評価などを明らかにするという重要性について、さらに、シラバスの記入事項及び内容について統一した様式で作成することが求められている旨の説明があり、項目ごとに記述内容のポイントについて説明がありました。



## FD 授業公開 報告

担当教員：梅木璃子こども学科講師

FD推進委員会が本学の授業改善活動の一環として行っている授業公開が、1月9日（金）に行われました。新型コロナ感染予防のために3年ほどお休みしていた授業公開でしたが、今年は、こども学科の梅木璃子講師が「初等外国語（英語）II」を公開してくださいました。

20名ほどの受講生がいる授業でしたが、導入部分ではゲームを活用してアイスブレイクがなされ、また、スマホを利用して学生からのレスポンスがリアルタイムで全体で共有できるなど、アクティブラーニングスタイルの授業が効果的に展開されました。



10名程度の教員が見学しました。感想のアンケートには、午後の「眠くなる」時間での授業だったが、効果的なツールを利用したアクティブラーニングにより、学生たちが活発に積極的に授業へ参加していた。。。自分の授業でもぜひ利用したい、、など大変参考になったなどの感想が記されていました。

## 令和5年度 学生による授業アンケート調査結果

### 1. 調査概要

#### (1) 実施期間

前期：令和5年7月11日（月）～7月31日（日）

後期：令和6年1月17日（火）～1月31日（火）

#### (2) 対象科目

演習・実習等の科目を除く全科目（履修者数5名未満の科目を除く）

#### (3) 実施科目数

前期：277科目

後期：257科目

#### (4) 実施方法

- 学修支援システム・セレッソを用いて、授業時間内に教員の指示に従って、学生が各自スマートフォンなどを通じて回答する。
- アンケート集計結果は、科目毎に科目担当教員に返却。大学全体、学部・学科、学年別の集計結果は、各学部、学科に配布するとともに当F Dニュースレター等で公表する。

#### (5) 設問

##### <授業に関する設問>

Q 1-1. この授業の履修の決定や学修する際に、シラバス（授業概要）を読んだ

Q 1-2. シラバス（授業概要）は、この授業の学修に役立った

Q 1-3. シラバス（授業概要）の到達目標を達成できた

Q 2. 受講にあたって、学修到達目標や注意事項などの説明・指導は、適切だった

Q 3. この授業の進度は、適切だった

Q 4. 教員の話し方は、聞き取りやすかった

Q 5. 板書や視聴覚機器は、見やすかった（聞きやすかった）

Q 6. 教員の説明・指導は、わかりやすかった

Q 7. 教室や実習・実技の環境・設備などは、適切だった

Q 8. この授業は、有意義だった

##### <学生の受講態度に関する設問>

Q 9. この授業にきちんと出席した

Q 10. 受講マナー（遅刻・早退、私語など）は守れた

Q 11. 予習・復習・課題提出など、この授業に熱心に取り組んだ

Q 12. この授業に対する1回あたりの平均勉強時間

#### (6) 回答方法

5段階評価 5：よくあてはまる

4：ややあてはまる

3：どちらともいえない

2：あまりあてはまらない

1：全くあてはまらない

（Q12.については、5：60分以上、4：60分未満、3：30分未満、

2：15分未満、1：全くしなかった）

#### (6) その他

科目担当教員の自由設問および自由記述欄あり。

## 2. 大学全体の結果

(上段：前期 下段：後期)

	5. よくあて はまる	4. ややあ てはまる	3. どちらで もない	2. あまりあ てはまらない	1. 全くあて はまらない	平均値
Q1-1 シラバスを読んだ	42.13%	36.75%	14.62%	3.79%	2.68%	4.11
	46.93%	35.89%	11.98%	3.83%	1.34%	4.23
Q1-2 シラバスが役に立った	41.83%	35.80%	17.83%	2.82%	1.70%	4.25
	47.26%	35.09%	14.03%	2.68%	0.92%	4.19
Q1-3 到達目標を達成した	40.75%	38.09%	17.93%	2.11%	1.09%	4.15
	46.28%	36.40%	14.79%	1.75%	0.76%	4.25
Q2 到達目標・注意事項の説明	52.83%	32.90%	12.08%	1.53%	0.64%	4.35
	55.99%	32.43%	9.42%	1.47%	0.66%	4.41
Q3 授業の進度	58.27%	29.90%	9.32%	1.95%	0.54%	4.43
	61.04%	28.46%	7.88%	2.03%	0.56%	4.47
Q4 教員の話し方	58.54%	28.11%	9.64%	2.85%	0.83%	4.40
	61.50%	27.63%	7.99%	1.98%	0.87%	4.46
Q5 板書・視聴覚機器	58.22%	28.99%	9.29%	2.60%	0.86%	4.41
	60.36%	29.58%	7.64%	1.77%	0.63%	4.47
Q6 教員の説明・指導	56.79%	29.71%	9.87%	2.83%	0.78%	4.38
	60.05%	29.01%	7.98%	1.99%	0.94%	4.45
Q7 教室の環境・設備・機材	60.10%	28.81%	9.17%	1.38%	0.52%	4.46
	62.78%	28.15%	7.47%	1.13%	0.43%	4.51
Q8 授業は有意義だった	59.19%	28.63%	9.53%	1.96%	0.62%	4.43
	61.74%	28.97%	7.18%	1.43%	0.66%	4.49
Q9 出席状況	75.56%	19.31%	4.22%	0.75%	0.15%	4.69
	73.12%	21.42%	4.21%	0.95%	0.27%	4.64
Q10 受講マナー	74.85%	19.77%	4.45%	0.75%	0.15%	4.68
	73.41%	20.95%	4.42%	0.92%	0.27%	4.66
Q11 授業への取り組み	57.62%	26.78%	10.07%	2.51%	0.99%	4.41
	61.24%	25.57%	9.72%	2.45%	1.00%	4.43
Q12 平均勉強時間※	24.88%	25.30%	23.23%	14.94%	11.64%	3.36
	27.13%	24.12%	23.97%	14.76%	9.99%	3.43

※Q12 5(60分以上)、4(60分未満)、3(30分未満)、2(15分未満)、1(まったくしなかった)

### 3. 学年別の平均値

(上段：前期、下段：後期)

	1年	2年	3年	4年
Q1-1 シラバスを読んだ	4.06	4.13	4.18	4.17
	4.19	4.26	4.26	4.16
Q1-2 シラバスが役に立った	4.07	4.16	4.19	4.11
	4.20	4.28	4.30	4.26
Q1-3 到達目標を達成した	4.13	4.16	4.18	4.08
	4.20	4.30	4.29	4.29
Q2 到達目標・注意事項の説明	4.35	4.37	4.35	4.23
	4.38	4.44	4.42	4.49
Q3 授業の進度	4.43	4.46	4.41	4.22
	4.44	4.49	4.48	4.63
Q4 教員の話し方	4.38	4.45	4.38	4.28
	4.42	4.50	4.50	4.58
Q5 板書・視聴覚機器	4.39	4.46	4.38	4.20
	4.43	4.50	4.47	4.54
Q6 教員の説明・指導	4.37	4.42	4.38	4.21
	4.40	4.50	4.46	4.57
Q7 教室の環境・設備・機材	4.43	4.52	4.46	4.25
	4.47	4.56	4.52	4.57
Q8 授業は有意義だった	4.38	4.49	4.48	4.30
	4.44	4.55	4.51	4.58
Q9 出席状況	4.73	4.67	4.67	4.43
	4.67	4.67	4.52	4.81
Q10 受講マナー	4.72	4.67	4.65	4.48
	4.66	4.67	4.57	4.83
Q11 授業への取り組み	4.36	4.42	4.52	4.27
	4.43	4.43	4.42	4.58
Q12 平均勉強時間	3.16	3.51	3.83	3.16
	3.40	3.50	3.21	4.12

※Q12 5(60分以上)、4(60分未満)、3(30分未満)、2(15分未満)、1(まったくしなかった)

#### 4. 学科別の平均値

(上段：前期、下段：後期)

	経営	福祉	こども	健康スポーツ	看護
Q1-1 シラバスを読んだ	4.20	4.20	4.15	4.02	4.11
	4.24	4.23	4.29	4.13	4.30
Q1-2 シラバスが役に立った	4.15	4.22	4.16	4.03	4.15
	4.23	4.26	4.35	4.13	4.32
Q1-3 到達目標を達成した	4.12	4.24	4.22	4.05	4.16
	4.19	4.27	4.40	4.13	4.33
Q2 到達目標・注意事項の説明	4.26	4.42	4.43	4.25	4.49
	4.31	4.50	4.60	4.25	4.43
Q3 授業の進度	4.37	4.46	4.48	4.37	4.46
	4.38	4.52	4.64	4.34	4.54
Q4 教員の話し方	4.29	4.47	4.48	4.34	4.43
	4.34	4.55	4.65	4.35	4.50
Q5 板書・視聴覚機器	4.31	4.48	4.51	4.32	4.43
	4.37	4.51	4.65	4.33	4.54
Q6 教員の説明・指導	4.25	4.45	4.43	4.33	4.43
	4.31	4.53	4.61	4.32	4.53
Q7 教室の環境・設備・機材	4.33	4.52	4.55	4.41	4.48
	4.37	4.58	4.69	4.39	4.58
Q8 授業は有意義だった	4.27	4.47	4.50	4.38	4.50
	4.34	4.52	4.67	4.38	4.56
Q9 出席状況	4.47	4.74	4.80	4.57	4.81
	4.42	4.71	4.86	4.50	4.79
Q10 受講マナー	4.44	4.70	4.76	4.61	4.78
	4.46	4.74	4.81	4.52	4.78
Q11 授業への取り組み	4.13	4.43	4.49	4.34	4.53
	4.19	4.41	4.62	4.27	4.61
Q12 平均勉強時間	2.90	3.26	3.12	3.31	3.76
	3.11	3.35	3.48	3.33	3.69

※Q12 5(60分以上)、4(60分未満)、3(30分未満)、2(15分未満)、1(まったくしなかった)

## 5. 最近3年間の平均値の推移

	R3 年度		R4 年度		R5 年度	
	前期	後期	前期	後期	前期	後期
Q1-1 シラバスを読んだ	3.52	4.24	4.05	4.22	4.11	4.23
Q1-2 シラバスが役に立った	3.48	4.24	4.08	4.22	4.13	4.25
Q1-3 到達目標を達成した	3.65	4.24	4.08	4.21	4.15	4.25
Q2 到達目標・注意事項の説明	4.39	4.43	4.32	4.43	4.35	4.41
Q3 授業の進度	4.46	4.48	4.40	4.50	4.43	4.47
Q4 教員の話し方	4.46	4.47	4.38	4.51	4.40	4.46
Q5 板書・視聴覚機器	4.42	4.44	4.35	4.49	4.41	4.47
Q6 教員の説明・指導	4.45	4.47	4.36	4.48	4.38	4.45
Q7 教室の環境・設備・機材	4.42	4.47	4.41	4.52	4.46	4.51
Q8 授業は有意義だった	4.47	4.49	4.43	4.53	4.43	4.49
Q9 出席状況	4.70	4.70	4.67	4.61	4.69	4.66
Q10 受講マナー	4.71	4.69	4.67	4.63	4.68	4.66
Q11 授業への取り組み	4.52	4.56	4.39	4.43	4.41	4.43
Q12 平均勉強時間※	3.91	3.81	3.43	3.43	3.36	3.43

※Q12 5(60分以上)、4(60分未満)、3(30分未満)、2(15分未満)、1(まったくしなかった)

本学の授業アンケートは、5名以上の受講者がいるすべての科目を対象に実施しています。本年度の実施対象の総科目数は前期が285科目、後期は257科目でした。受講生の総数は、前期が11,114名、後期が9,341名で、回答者数は、前期が7,902名で約71%の回答率。後期は、6,151名で回答率は約66%でした。本年度は新型コロナが5類に移行したことを受け、コロナ前の授業形式に戻って、行わされました。一方、遠隔授業等で利用したセレッソ、ZOOM、YouTubeなどのツールを続けて活用しながら、双方向型授業やアクティブラーニングを取り入れた授業などが増えたという印象を持っています。

## FD関連図書コーナー新着案内

本学図書館1階の参考図書架に設置されている「FD関連図書コーナー」では、毎年多数発刊される国内のFD関連図書の中から、特に有用なものを選定・購入し、蔵書を充実させています。

新たに購入した図書の主なものは、次の通りです。自由に閲覧、貸し出しができますので、多数の方のご利用をお待ちしております。

書名	著者名	出版社
アメリカ高等教育のガバナンス改革:カリフォルニア大学の自律と統制をめぐる葛藤	中世古貴彦	九州大学出版会
オンライン・アクティブラーニング 認知心理学に基づく5つの原則	永井知代子、水野真由子、福澤一吉(すべて翻訳者)	医歯薬出版
シリーズ 学びとビーイング2. 授業づくり、授業デザインとの対話	川口竜行、木村剛、法貴孝哲、その他	りょうゆう出版
AIを活用した問題解決型PBLの進め方	江崎和博	NextPublishing Authors Press
大学基礎 データサイエンス	伊藤大河、川村和也、内田瑛、河井麗奈	実教出版
「教えない授業」の始め方	山本宗雄	アルク
はじめてのデータサイエンス	滋賀大学データサイエンス学部、山梨学院大学ICTリテラシー教育チーム	学術図書出版社
SCHOOL SHIFT あなたが未来の「教育」を体現する	宮田純也	明治図書出版
コレクティブ・エフィカシー:自立的で相互依存的な学習者を育てる	ジョン・ハッティ、ダグラス・フィッシュラー、ナンシー・フレイ	北大路書房
学びを育む教育の方法・技術とICT活用:教育工学と教育心理学のコラボレーション	岩崎千晶、田中俊也、山田嘉徳、中谷素之	北大路書房
高校・大学・社会 学びと成長のリアル 「学校と社会をつなぐ調査」10年の軌跡	溝上慎一、河合塾、知念涉、中村高康	学時出版
教師が変わる、学生も変わる—ファカルティ・デベロップメントの取り組み(シリーズ 北九日の挑戦3)	北九州市立大学: 中溝幸夫、松尾太加志	九州大学出版会
大学の教務Q&A 第2版	中井俊樹、宮林常崇	玉川大学出版部
今、求められる大学の「組織開発」生き残るために戦略より必要なこと	岩田雅明	ぎょうせい
現場が動き出す大学教育のマネジメントとは—茨城大学「教育の質保証」システム構築の物語	太田寛行、鳴田敏行	技術評論社

## 令和5年度 FD 推進委員会 活動記録

令和5年 4月26日 第1回委員会

- 議題 1)令和4年度活動報告  
2)令和5年度活動予定  
3)その他

7月18日～ 学生による授業アンケート調査(前期)  
7月30日  
8月16日～ FD 講習会「実用統計講座」  
8月18日 講師:経営学部経営学科教授 福井 正康氏  
8月25日 FD ワークショップ「科研費申請書作成のポイント」  
講師:福祉健康学部健康スポーツ科学科教授 上村 崇氏  
9月14日 第1回 FD 研修会(福山大学との共催:ライブ配信)  
講師:京都大学学生総合支援機構 村田 淳氏  
「障害と大学の現在～改正障害差別解消法をみすえた組織的対応の必要性～」  
9月15日 第2回委員会

議題 1)前期授業アンケート調査結果の報告  
2)その他(FD 関連図書購入について、授業公開について)  
10月12日 第2回 FD 研修会「研究推進及び研究支援」  
講師:経営学科学科長堀越昌和氏、福祉学科学科長岡部真智子氏  
12月12日 FD ワークショップ「シラバス作成について」  
講師:教務委員会委員長 中原大介氏、副委員長 河野 洋氏

1月9日 授業公開  
令和6年 こども学科講師 梅木璃子氏  
「初等外国語(英語)II」  
1月16日～ 学生による授業アンケート調査(後期)  
1月30日  
3月 7日 第3回委員会  
1)後期授業アンケート調査結果の報告  
2)その他  
3月31日 FDニュースレター第20号発行

### 編集後記

FDニュースレター第20号をお届けいたします。今年は新型コロナの影響もほぼなくなり、FD講習会、ワークショップ、FD研修会、授業公開と例年以上のFD活動を行うことができました。ご協力していただいた教職員各位に厚く御礼申し上げます。遠隔授業形式で培ったLMSやスマホアプリを利用したアクティブラーニングなどを活用して、大人数の授業においても双方向授業(アクティブラーニング)の実施が可能になってきました。新しいデジタルツールも出てきていますので、それらを紹介しながら、教育と研究に参考になるようなFD活動を続けていきたいと考えています。最後になりましたが、皆様方の本年度のFD活動へのご協力に感謝申し上げます。(KW)